

現代心理学編 第3部 心の世界

全3巻

各巻3部構成

■時間:各巻 約75分(各部 約25分)

1 聴いていますか?子どもの心

●カラー

〈第1部〉 ゆれる思春期

現代社会では物質生活が豊かになった反面、精神生活が脅かされる危険性も多くなっている。特に思春期を迎えた子どもは情緒や感情の起伏が激しく不安定な状態に陥りやすいといえる。第1部では子どもの心を知るために、まず思春期の定義を明確にし、不幸にして自己を見失った子どもの反社会的行動(非行)、非社会的行動についての現状を、外国との比較をまじえながら討論する。

〈第2部〉 教育実践の中で

不幸にして非行に走った子ども達を立ち直らせるために様々な教育が試みられている。第2部では対照的な更正方法でそれぞれ大きな成果をあげている先生方の実践内容を紹介した後に、その中で浮彫にされた家庭環境、親子関係の在り方などについて、食生活の問題も含めて話し合われる。

〈第3部〉 健康な家庭づくり

自己を見失った子ども達を本来の姿に戻すためには大きなエネルギーが必要である。そこで非行に走らないための予防の重要性が訴えられている。第3部では各先生方の専門的立場や体験をもとに予防について話し合われる。原因を知るために用いられる描画法などの診断法、親業訓練に見る親子関係改善への道など取り入れながら、全体のまとめとして家族協力の必要性が強く提言されている。

〈監修〉

法務省 東京矯正管区長 林 勝造／東京大学医学部教授 逸見武光／篠ノ井旭高校名誉校長 若林繁太／専光坊内観場 宇佐見秀慧／日本女子大学 杉溪一言

2 カウンセラーになるために!!

●カラー

この作品は、カウンセラーを志す人達のために、カウンセリングを「原理・技法・学習」という三つの柱に分けて、一流のスーパーバイザーが経験に基づいた豊富な知識を、それぞれの問題に関係した様々な映像をインサートしながら、解説と有意義な討議によって紹介したものである。

〈第1部〉 カウンセリングの原理

多種多様な問題を抱えている現代において、学校や企業がカウンセリングを導入する場合に、どのような方針(原理)を守るべきかを討議する。

〈第2部〉 カウンセリングの技法

第1部で指摘した原理に則して、学校や企業の中でカウンセリングを実施する場合に、技法的にどういうことに注意すべきかを話し合い、視聴者が自分の考えをまとめるためのアドバイスを提供する。

〈第3部〉 カウンセリングの学習

教育関係者や企業人などが、カウンセリング教育を計画する場合のミニマム・エッセンシャルズとして何を考えるべきか。そして講師や学習者に要請したいことは何か。参加者が経験を生かした意見を提供する。

〈監修〉

新潟大学教授 内山喜久雄／筑波大学教授 原野広太郎／明治学院大学教授 神保信一／都立教育研究所教育相談部長 荒井淳雄／東京理科大学教授 国分康孝

3 ヒトの知能と思考はどう育つか?

●カラー

〈第1部〉 乳幼児期の知能の発達

乳児期から幼児期にかけて、パーソナリティーの発達過程を追う。

〈第2部〉 児童期の知力と学力

知能の概念を窮屈な、操作的定義から解放し、また遺伝に固定させることから離脱し、知能の発達にその重点をおく。

〈第3部〉 青年期の知識と創造

青年期の心理的特徴がその時代の社会的、文化的状況に大きく規定されるものであっても、現代の文明社会にあってほぼ一般的に認められる青年期の諸特徴を追う。

〈監修〉

東京大学教育学部教授 東 洋／放送大学学習センター教授 中川大倫／大阪大学人間科学部教授 宮本健作／横浜国立大学教育学部教授 依田明
国立教育研究所第3研究部長 永野重史／伊豆通信病院小児リハビリテーション 森永良子

・お問合せ・お申込みは

博映商事
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
【HP】 <http://hakuai-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuai-shoji.jp